

# 薬用植物園だより

2023年

12月

美味しいミカン（三疳？）、果皮はお薬に ウンシュウミカン（ミカン科）



*Citrus unshiu* Marcowicz

部位	成熟果皮
生薬名	陳皮（チンピ） <b>局方収載</b>
成分	リモネン（精油） シネフリン（アルカロイド） ヘスペリジン（フラボノイド配糖体）など
薬理	グレリン分泌促進作用、健胃作用など
薬能	理気薬
漢方	六君子湯、平胃散、補中益気湯など

和名のウンシュウは、中国の柑橘類の名産地である温州にあやかってつけられたとされます。本種は在来品種で、最近のDNA研究により、キシウミカン（種子親、中国由来）とクネンボ（花粉親、インドシナ半島原産）の自然交配により偶然できたことがわかりました。ミカンは三つの疳（かん）、「夜泣き」「引きつけ」「疳の虫」を治すことから付けられたとされています。薬用部位は成熟果皮で陳皮と呼びます。七味唐辛子にも配合されているので、知っている人も多いでしょう。漢方では、気（き）を巡らす理気薬として配合され、半夏（痰を解消し、詰まりをとる）と組み合わせて使用されることも多く、漢方では気血水の巡りを大切にします。

ナンテン（メギ科）

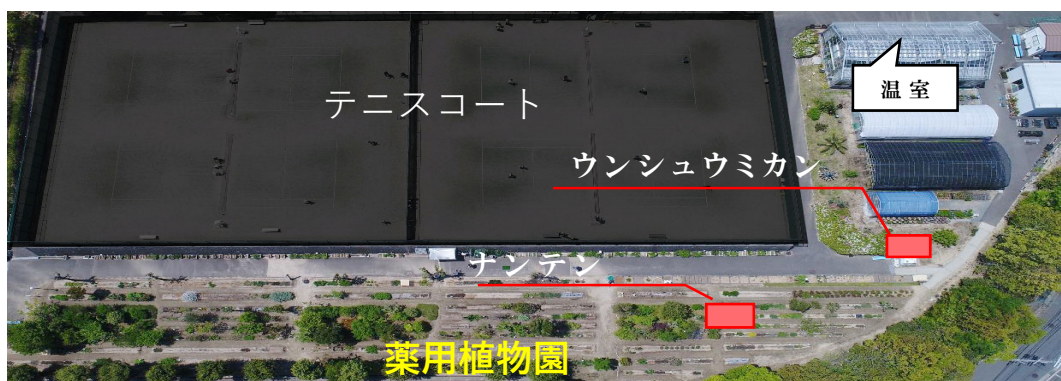
難を転じて福となす赤い実が魔除けに

*Nandina domestica* Thunb.



部位	果実
生薬名	南天実（ナンテンジツ）
成分	ベルベリン、nandinine（アルカロイド） nandinin（青酸化合物）など
薬理	鎮咳
用途	民間薬として日本に伝来したと考えられる

中国原産の常緑低木で、魔除けで鬼門に植栽されたり、お正月の生け花によく使われます。また、祝い事の赤飯に葉が乗せられていることがよくあります。ベルベリンが含まれるほか、抗菌作用のある極微量のシアン化水素が発生し、防腐に役立つとされています。赤色に対する魔除けの信仰は、医学や薬学の発達していなかった時代には、大変重要であったと考えられます。現在の生活の中にも、慶祝行事などに赤色の祈りが引き継がれています。一方、抗アレルギー薬のトラニラストは、本植物の葉に含まれるナンテノシド B をリード化合物として開発されたものです。



ホームページでも  
ご覧いただけます